

Keitaro Harada Produce

ザ・シンフォニーホール

ニューイヤーコンサート 2026

ロッシーニ：

歌劇「ウィリアム・テル」序曲より
「スイス軍の行進」

バーンスタイン：

「ウェスト・サイド・ストーリー」セレクション

シュトラウスⅡ：

トリッチ・トラッチ・ポルカ

ジョン・ウィリアムズ：

「スター・ウォーズ」メイン・テーマ

ガーシュウィン：

ラブソディ・イン・ブルー ※

シュトラウスⅡ：

ポルカ「観光列車」

ラフマニノフ：

ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 op.18 ※

【指揮】

原田慶太楼

【ピアノ】

清塚信也

※



【管弦楽】日本センチュリー交響楽団

2026 **1.1** (木・祝) 15:00開演 (14:00開場)
S 11,000円 A 9,000円 B 7,000円 (全席指定・税込)

ザ・シンフォニーホール

主催：ザ・シンフォニーホール 協力：株式会社 顕祭

〈ご予約・お問合せ〉ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonihall.jp>

プレイガイド

- e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonihall/> (パソコン・携帯)
- ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonihall/> [Lコード:52433]
- チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonihall/> [Pコード:301-708]

公演の
詳細については
こちら▶▶▶



ジルベスターコンサート2025 &
ニューイヤーコンサート2026
スペシャルセット券
22,000円(税込)

2公演を同じお席でお楽しみ
いただけるスペシャルセット券
もご紹介します。詳しくは専用
サイトでご確認ください。



スペシャルセット券は、ザ・シンフォニー チケットセンターでのみ
お取り扱いします。他のプレイガイドでの販売はございません。

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

Keitaro Harada Produce

新年は「ウィリアム・テル」序曲の壮大なフィナーレで幕を開けます。高揚感あふれるサウンドは2026年への期待と希望を一気に高めてくれるでしょう。ブロードウェイの名作ミュージカルの感動と興奮が鮮やかに蘇る「ウェスト・サイド・ストーリー」、軽快でユーモラスな旋律が会場に笑顔をもたらす「トリッチ・トラッチ・ポルカ」、「スター・ウォーズ」では壮大な宇宙の冒険へと誘われます。前半のハイライトはジャズとクラシックが融合した革新的な傑作、清塚信也さんが最も得意とするレパートリーの一つ「ラブソディ・イン・ブルー」です。指先から紡ぎ出される音の一つ一つが鮮やかな色彩で情景を描き出します。

後半はポルカ「観光列車」で陽気にスタートです。楽しい気分させてくれる列車の旅はコンサート後半への期待感を高めてくれるでしょう。クライマックスを飾るのはラフマニノフのピアノ協奏曲第2番。深い感情が込められた旋律は、聴く者それぞれが抱く新年の思いや希望、そして過ぎ去った日々への郷愁を呼び起こします。どんなサプライズが待っているのか、最後までお楽しみください。

新年の始まりに極上の音楽と共に心豊かなひとときを過ごしませんか？《ニューイヤーコンサート》にぜひ足をお運びください。最高の音楽体験があなたの2026年を輝かせるでしょう。 原田慶太楼

【指揮】原田慶太楼 Keitaro Harada, conductor

東京交響楽団正指揮者、愛知室内オーケストラ首席客演指揮者兼アーティスティック・パートナー、アメリカでは2020年シーズンからジョージア州サヴァンナ・フィルハーモニック音楽&芸術監督を務め、さらに2025年7月からオハイオ州デイトン・フィルハーモニック管弦楽団とデイトン・オペラ&バレエの音楽・芸術監督にも就任した、国際的に目覚ましい活躍を続ける期待の俊英。シンシナティ交響楽団&ポップス、アリゾナ・オペラ、リッチモンド交響楽団のアソシエイト・コンダクターとして、またジェームズ・レヴァインやロリン・マゼールのアシスタントとしてキャリアを積みながら、ヒューストン、フェニックス、N響、読響等のオーケストラはもちろん、ノースカロライナ、シンシナティ、ブルガリア国立歌劇場などオペラの世界でも実績を重ね、最近では2024年のNISSAY OPERAドニゼッティ「連隊の娘」や2025年デイトン・オペラでのヴェルディ「アイダ」で舞台を力強く牽引しオペラ指揮者としての資質を感じさせた。2010年タングルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、米国ショルティ財団のキャリア支援賞6度と2023年には日本人で初めてトップのコンダクター賞を受賞。2009年キャッツボルトン・フェスティバルにロリン・マゼールから、2011年PMFにはファビオ・ルイジから招待を受けて参加。第29回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

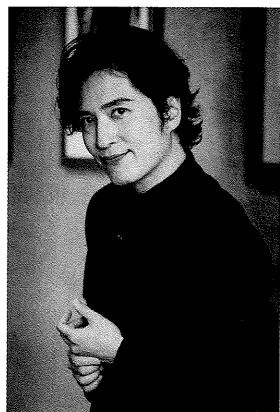
オフィシャル・ホームページ: kharada.com/ @KHconductor



【ピアノ】清塚信也 Shinya Kiyozuka, piano

5歳よりクラシックピアノの英才教育を受ける。中村紘子、加藤伸佳、セルゲイ・ドレンスキーに師事。桐朋女子高等学校音楽科(共学)を首席で卒業、国内外のコンクールで数々の賞を受賞。人気ドラマ「のだめカンタービレ」他作品で吹き替え演奏を担当し脚光を浴びる。2013年には映画「さよならデュッシー」で岬洋介役として俳優デビュー。2015年TBS系 金曜ドラマ「コウノドリ」(主演:綾野剛)では、ピアノテーマおよび監修を手掛けるほか、役者としても出演。知識とユーモアを交えた話術と繊細かつダイナミックな演奏で全国の聴衆を魅了し続け、年間100本以上の演奏活動を展開。2019年8月16日には邦人男性クラシック・ピアニストとしては史上初となる日本武道館での単独公演を開催。作曲家としてドラマ・映画・舞台の劇伴やテーマ曲を手掛けるほか、Eテレ「クラシックTV」ではMCと番組監修を務め、斬新な切り口で幅広い音楽の魅力を伝える。ピアニストとして次々と新しいフィールドへの挑戦を続け、常に話題と注目を集めている。

公式HP: <http://tristone.co.jp/kiyozuka/>



【管弦楽】日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra 街に響く。心に届く。

1989年に発足、大阪府豊中市を拠点に活動するオーケストラ。2025年4月より久石譲が音楽監督に就任、名誉ミュージックアドバイザーに秋山和慶を擁す。ザ・シンフォニーホールでのシンフォニー定期演奏会、豊中市立文化芸術センターでの「豊中名曲シリーズ」を開催。教育プログラムや地域連携事業にも力を入れ、依頼公演、室内楽コンサート、アンサンブル等を合わせて年間200回を超える公演を行っている。飯森範親指揮「ハイドン交響曲集 Vol.1」(他複数)等がレコード芸術特選盤に選出、大阪府文化祭奨励賞受賞(2015年度、2018年度)など、その高水準な演奏は高い評価を得ている。「伝統と革新〜未来をつなぐ音楽を〜」をスローガンに掲げ、音楽を通じて地域と未来を結ぶ架け橋として進化し続けることを目指す。

2024年12月に楽団創立35周年を迎えた。

オフィシャル・ホームページ <https://www.jcso.or.jp>



SPECIAL EVENT

ロビーに花や樽酒を設置した正月仕様の演出でお出迎え。
鏡割りや振る舞い酒もご用意して、
皆様のご来場をお待ちしております。

